

板橋の蝶に関する質問コーナーQ&A 回答:「板橋区の蝶を調査する会」

①チョウはなにをたべますか？

答え:幼虫の時は、食草(食べられる植物)の葉や花などを食べます。

また、成虫の時は、花の蜜(みつ)や木の樹液(木から出てくるえきたい)等を食べます(口吻(ストローのようなもの)で吸います)。

⑫チョウの成虫は何を食べますか？

①の成虫の時と同じ。

②カラスアゲハやルリタテハなどはねがとってもきれいです。この夏にカブト虫の観察なども楽しいよ。

答え:蝶(チョウ)の翅(ハネ)はその種によって色々な色や模様(モヨウ)があってとてもきれいですね。カラスアゲハやルリタテハは黒から青色が光って見えますね。このような蝶の色は翅についている鱗粉(リンポン)と呼ばれる粉(コナ)のような物でおおわれていることによります。鱗粉が持っている色がそのように見えることや、鱗粉の大きさ・形・並び方などで太陽の光の内、決まった色の光を反射(ハンシャ・はねかえす)して色が見えているからです。

カブト虫の観察も楽しそうですね。

⑥ちょうはどうして羽がきれいなんですか？

答え:②と同じ

⑧いろんなはねがあつてきれいです。

答え:②と同じ

⑬チョウはどうしてこんなにきれいな羽を持っているんですか？

答え:②と同じ。また、同じしゅるいのチョウかどうかを知るためには(オスがメスを見つけたりするときなど)、触角で匂い(フェロモン)を感じるとされていますが、色々なモヨウがあると分かりやすくなりますね。

③ちょうをつかまえようとすると、すぐにげられちゃいます。何をどこで感じとってにげるのでしょうか？

答え:蝶(チョウ)は自分を守るために目や触角(ショッカク)でまわりの様子を見ています。目は物を見る能力は人間よりも弱いですが、まわりの様子を見ることができます。触角はにおいや空気のゆれなどを調べられるようです。また、前の翅(ハネ)の胸(ムネ)の近くで音をききとっているといわれています。そのため、うっかり近づくと逃げてしまいますね。

④チョウとがのちがいはなんですか？

答え:チョウは日中に飛(ト)び・翅(ハネ)を立てて止まり、ガはよるに飛び・翅を開いて止まると言いますが、いずれも例外(例外:当てはまらないこと)があります。チョウとガは同じ鱗翅目(リンシモク:ハネにコナが付いているコンチュウのなかまであり、今は、はっきりと区別することはできていません。

⑤最近発見されたチョウはいるんですか？

答え:最近では、2024年1月にインドで見つけられたシジミチョウ科の蝶で(学名:Cigaritis meghamalaiensis です)和名はわかりません。

チョウは世界で2万種類位いるようです。日本で見られるのは260種類くらいです。日本では、最近発見されたチョウというのは、新しい種類のチョウではなく、外国(台湾など)から飛んでくるチョウで(タッパンルリシジミやホリシャルリシジミ)迷蝶(メイチョウ)と呼んでいます。台風でたまたま飛んできたり、地球

の温暖化により、暖かい所にすんでいたチョウが少し寒い日本にもすめるようになってきているのではとも言われます。

⑮新種の名前は何ですか

答え:⑤と同じ

⑦チョウはなんでお花に集まるの?

答え:お花にある蜜(ミツ)を吸っておなかをいっぱいにするためです。

⑨かわいいちょうちょうがありますね。

答え:チョウチョはどれもみんなかわいいですね。やさしくみまもってくださいね。

⑫かわいいちょうちょうがありますね

答え:⑨と同じ

⑩どうしてちょうの羽はみんなそれぞれ形がちがうのですか

答え:チョウの生まれた環境(カンキョウ:温度、湿度、高度)の違(チガ)いにより、チョウの大きさ、翅の色、形に違いがあるようです。全ての種類(シュルイ)のチョウが同じ翅(ハネ)の大きさ・形・色モヨウだったら、どうなるでしょうね?チョウのオスは、自分のさがすケツコンアイテのメスがどれだか分からなくなってしまいますね。チョウの種類(シュルイ)によって大きさ・形・いろのモヨウがちがうと少し分かりやすくなりますね。

⑪チョウはしんだらどうなるのですか

答え:他の昆虫たちの(シテムシやゴミムシ・アリなど)たべものになります。

⑭どうしてチョウは飛ぶのですか?

答え:チョウの食べ物の花の蜜(ミツ)や木の樹液(ジュエキ)を見つけるには、ハネを開いて飛んで行かないとなかなか見つけられませんか。すぐにおなかへって死んでしまいます。

また、飛ぶときは、前の翅(ハネ)と後の翅とがバラバラではなく、いっしょにうごきます。この翅を上下にばたばたさせてチョウの身体を浮かせる力をつくります。

⑰ちょうはみつをすいますか

答え:チョウのおしょくじは、はなのみつや木からでるじゅえきを口吻(コウブン)というストローのようなものすいます。

⑱チョウは、どうやって葉っぱにとまるの?

答え:チョウの脚(アシ)はぜんぶで6本ありますね。脚の先にはカギツメがついていて、これで葉っぱなどにとまることができます。

⑲どうしてはねがあるの?

答え:幼虫の時は、そこに食草があり他の所に動いていく必要はありませんね。

しかし、成虫の時はチョウの食べ物の花の蜜(ミツ)や木の樹液(ジュエキ)を見つけるには、ハネを開いて飛んで行かないとなかなか見つけられませんか。すぐにおなか減って死んでしまいます。

⑳ちょうの粉はなに?

答え：鱗粉(リンブン)といいます。リンブンは、チョウにきれいなハネの色や模様を付け、雨をはじき、ぬれるのをふせいだり、また、結婚相手(ケッコンアイテ)を見つける大切なものです。

②① どうしてそのような名前なのか？

答え：「葉っぱのようにうすくて平たい虫」をいみする事で「蝶(チョウ)」と言う名前になったようです。

②② 一番名前が長いチョウはなんという名前ですか

答え：世界ではと言いますと、学名となりとてもむずかくなりますね。日本語名(外国のチョウを日本名でつけた名前=和名)で言いますと「アレキサンドラトリバネアゲハ」、日本のチョウでは「カラフトタカネキマダラセリ」「ウスアオオナガウラナミシジミ」「リュウキュウウラナミジャノメ」の14字だと思います。

②③ 世界で発見された蝶は何種類ですか

答え：世界中では、約二万種と言われていています。

②④ チョウの種類は何種類ですか

答え：②③と同じ

②⑥ 前野公園で見つけた幼虫をエコポリの図鑑で調べたが探せませんでした。幼虫の本ありますか？

答え：小学館の図鑑NEO「イモムシとケムシ」、イモムシハンドブック①②③(株)文一総合出版などがありますが、チョウやガ類の幼虫ではなく、ハバチや甲虫類の幼虫の可能性もあります。

なお、スマホを持っていれば、グーグルでケンサクしてみるのも良いかもしれませんね。

幼虫が付いていた野草の名前が分かればしらべたい名前に早く近づけることがあると思います。

また、エコポリスセンターのホームページに「板橋で見られる蝶 デジタル観察図鑑」がありますので、その中の幼虫の写真で調べてみるのもいいかもしれませんね。

②⑦ 日本各地で人気なチョウは何ですか？

人気のチョウを調べたことはありません。また、個人的な好みの事なのでよくは分かりませんが、青色のチョウは人気があるようですね。また、マニアの中では、現在では見られなくなってきている希少なチョウ(高山チョウなどや絶滅の危険性が高い蝶)や渡りをするロマンが感じられるアサギマダラなども人気があるようです。

②⑧ アゲハの寿命はいつ？

春以降に卵で生まれたアゲハは、幼虫→蛹→羽化(成虫)となりますが、成虫まではおよそ1ヶ月です。しかし、秋以降に産卵されたアゲハは、幼虫の後、蛹で冬越しをするので、五ヶ月ほどで春に羽化します。羽化した成虫は、どの時期でもおよそ10日~2週間の命です。

②⑨ カラスアゲハの幼虫の色は何色ですか？

カラスアゲハの幼虫は、コクサギやカラスザンショウの葉に見られますね。卵からふ化した頃は、黒みがかかった濃い緑色、その後濃い緑色から普通の緑色となります。エコポリスセンターのホームページに「板橋で見られる蝶 デジタル観察図鑑」がありますので、その中の幼虫の写真で調べて見て下さいね。

②⑩ ちゃんがつくチョウはいますか？

和名でちゃんがつくチョウはいないですね。

②⑪ いろんないろがあってかわいい

チョウのはねは、いろいろな色やモヨウがあってかわいいですね。やさしくみまもってくださいね。

③③チョウの幼虫を飼育の時に食草を枯らさない方法は？

答え：方法Ⅰ；食草をペットボトルなどに水を入れて差し込みます。その時幼虫がペットボトルに入っていないようにティッシュなどでふさぎます。方法Ⅱ；水にひたしたメラミンスポンジに切れ目を入れて食草を差し込むと長持ちします。

③④チョウの羽や足は再生しますか？

答え：チョウの羽や足は再生しません。

③⑤羽はあんなにきれいじゃなくてもいいのでは？目立ったら鳥に見つかるのでは？

答え：チョウはオスがメスを見つけやすいように、とくしよくのある色をしていますね。鳥には見つかりやすいかもしれませんが、じょうずににげるとびかたをしています。だから、これまで生き残ってきたんでしょうね。

③⑥アゲハを飼っていますが、飼育ケースに何匹入れられますか？

答え：大きい幼虫と小さな幼虫を同じ飼育ケースにいれると、大きな幼虫が食事をしている間は小さな幼虫は隠れて出てきません。大きい幼虫が蛹になって初めて小さな幼虫は食事ができるので、1つのケースには多くの幼虫をいれないほうがよさそうです。

③⑦さなぎから羽化した日が雨だったら外に放せますか

答え：できるだけ天気の良い日にはなしたほうがよいとおもいますが、雨の日にはなしても、チョウは、雨にぬれないようなばしょにかくれるので大丈夫だと思います。

③⑧チョウは身を守る手段はありますか？武器はありますか？

答え：武器に近いのが、幼虫のとき、アゲハチョウ類は頭の先から臭角(肉角)を出し、くさいにおいで相手をおどろかして身をまもります。成虫では、翅の一部に眼状紋があり、鳥などはそこが目だと思って食べようとしますが、チョウはハネをすこし食べられただけで大丈夫です。また毒をもっているチョウもいて、鳥は食べようとはしません。

③⑨アゲハの幼虫を育てたときに変な虫が出てきちゃいました。どんなふう育てたらいいですか？

答え：幼虫がきせいバチにやられる時(卵を産み付けられる)がありますね。うまく育てるには卵の時や小さい幼虫のうちから飼育ケースで育てると羽化できることが多いです。

③⑩ルリタテハはどこで見られますか？

答え：板橋区では赤塚公園、城北中央公園、光が丘公園などクヌギ、コナラなどの樹液が出る木のまわりに来ると思います。

③⑪チョウはとまる時、いつも羽をとじていますか？

答え：チョウの多くはハネをとじてとまりますが、からだをあたためるために太陽の光をあびるときなど、ハネをひらいているときもあります。

③⑫蝶はどうやってつかまえるといいですか？前に羽を1枚だけつかんだら、ちぎれてしまいました。

答え：チョウのハネは破れやすいので、りょうほうのハネをやさしくもってあげてね。